

4)教育・研究機関の場合

様式第1号の3 (第3条関係)

実務経歴証明書

① 令和〇〇 年〇〇月〇〇日

長崎県指定登録機関
一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様

② 〇〇大学大学院 〇〇研究科長
証明者 登録 太郎 印

③ 住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

④ 電話番号 〇〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
担当 〇〇大学大学院 〇〇研究科 免許一郎
Tel 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

⑤ 免許申請者との関係 申請者が所属する研究科の研究科長

下記の者が申請した 二級木造 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

⑥ 1. 免許申請者氏名 建築 士郎

⑦ 2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

⑧ 建築実務の内容：
・建築物に関する調査又は評価に関する研究について、△△市内の歴史的建築物の実測調査及び図面化を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。
・建築物の設計に関する研究について、△△ダンパーを連層配置した高層建築物の地震応答特性を行い、その結果を基に共有者として論文執筆に携わった。
・建築物の設計に関する研究について、△△施設における温熱環境の多変量解析を行い、その結果を基に共有者として論文執筆に携わった。

⑨ 備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

【記入についての確認事項】

① 証明年月日

証明年月日が、「実務経歴書」の「建築実務経験期間」に記入された日付より後であること。

② 証明者

申請者が所属する教育機関の学長（校長）または学部長・研究科長の署名または記名・押印（押印は公印または役職印に限ります）等がある事を確認して下さい。

なお、署名の場合は押印不要です。

③ 住所・所在地

「②証明者」が所属する教育機関の住所・所在地を正確に、都道府県から番地、ビル名等を記入すること。

④ 電話番号

「②証明者」が所属する教育機関の電話番号を、市外局番から記入すること。

⑤ 免許申請者との関係

免許申請者と「②証明者」の関係を記入すること。

⑥ 免許申請者氏名

実務経歴書に記入された免許申請者の氏名と相違ないこと。

⑦ 建築実務経験期間の合計

実務経歴書に記入された「建築実務経験期間の合計」と相違ないこと。

⑧ 建築実務の内容

実務経歴書に記入された「実務経験の対象となる業務の内容」を簡潔に記入すること。

⑨ 備考